

2022年12月6日

報道関係各位

GMOグローバルサイン株式会社

## GMOグローバルサイン、IoTデバイスのオープンスタンダードに取り組む 国際団体「Connectivity Standards Alliance」に加盟 ～IoTデバイスの安全なネットワーク接続環境作りを推進～

GMOインターネットグループのGMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社の連結企業群で、電子認証サービスを展開するGMOグローバルサイン株式会社（代表取締役社長：中條 一郎 以下、GMOグローバルサイン社）は、IoTデバイスのオープンスタンダードに取り組む国際コミュニティである「Connectivity Standards Alliance」に2022年11月29日（火）に加盟いたしました。

このたびの加盟により、GMOグローバルサインは他のコミュニティ加盟社とともに連携し、IoTデバイスのセキュリティに最適な技術として認められている公開鍵基盤（PKI）ベースの電子証明書をネットワーク接続に用いることなどをはじめとしたセキュアなネットワーク接続の重要性を、これまで以上に広く全世界のIoTを活用する事業者に向けて啓発してまいります。

こうした取り組みを継続することによりIoTデバイスが安全にネットワークに接続できる環境の整備に貢献してまいります。



### 【「Connectivity Standards Alliance」とは】（<https://csa-iot.org/>）

現在、世界で接続されているIoTデバイスの数は77億4,000万台<sup>(※1)</sup>と推定されており、2030年には290億台<sup>(※2)</sup>まで増加すると予測されています。このような状況の中、消費者にとってネットワークへの接続を安全に行えるような標準規格の作成、普及に取り組むために米国カリフォルニア州で「Connectivity Standards Alliance」が設立されました。2022年11月現在では世界各国から550を超える企業が参加しています。

(※1)出典：「80+ Amazing IoT Statistics (2023-2030)」 <https://explodingtopics.com/blog/iot-stats>

(※2)出典：「Number of Internet of Things (IoT) connected devices worldwide from 2019 to 2021, with forecasts from 2022 to 2030」 <https://www.statista.com/statistics/1183457/iot-connected-devices-worldwide/>

## 【GMO グローバルサインの IoT ソリューション】

### [\(https://jp.globalsign.com/internet-of-things/\)](https://jp.globalsign.com/internet-of-things/)

GMO グローバルサインは数十年にわたる電子証明書の経験を背景に、2018 年に IoT Identity Platform を立ち上げました。IoT Identity Platform は IoT デバイスの ID ライフサイクル（デバイス登録・証明書発行/配布から、更新・停止・移転まで）を包括的に管理し、提携デバイスや他社サービスと連携する機能を持ちあわせた、IoT デバイスの次世代型セキュリティサービスです。あらゆる種類の IoT デバイスに対して何十億もの ID を発行・管理できる柔軟性と拡張性を備えています。

## 【「GlobalSign」 とは】

世に電子認証サービスが登場し始めた初期段階の 1996 年にベルギーでサービスの提供を開始し、ヨーロッパで初めて WebTrust を取得した認証局です。ベルギー政府関連機関への数多くの実績を持ち、eID<sup>(※3)</sup> (BELPIC)をはじめとするベルギー電子政府プロジェクトの最上位認証局である、ベルギー政府認証局への認証を行っています。2006 年に GMO インターネットグループにジョインし、政府レベルのセキュリティを、日本をはじめワールドワイドに販売展開しております。現在では、SSL サーバ証明書をはじめとした 2,500 万枚の電子証明書発行実績と、政府関連機関や大手企業へ多数の納入実績があります。

また、『CABF(CA/Browser Forum)』、『Anti-Phishing Working Group』に参加し、電子証明書市場のリーディングカンパニーとして積極的な活動を行っています。さらに、2018 年 5 月からは、Adobe 社が 2016 年に設立した電子署名業界および学術界の専門家から構成される国際団体「クラウド署名コンソーシアム」に加盟し、国際的な法規制を遵守したクラウド上の電子署名の実施におけるオープンな標準規格の決定に参加しています。

(※3) ベルギーの電子政府プロジェクトの一環として始まった国民 ID カードプロジェクト。12 歳以上のベルギー全国民に対して電子証明書入りの ID カードが配布される。

---

### 【報道関係お問い合わせ先】

- GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社  
社長室 広報担当 大月・遠藤  
TEL : 03-6415-6100  
E-mail : [pr@gmogshd.com](mailto:pr@gmogshd.com)

- GMO インターネットグループ株式会社  
グループコミュニケーション部 新野  
TEL : 03-5456-2695 E-mail : [pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)

### 【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO グローバルサイン株式会社  
マーケティング部 坂井  
TEL : 03-6370-6500  
E-mail : [support-jp@globalsign.com](mailto:support-jp@globalsign.com)

【GMO グローバルサイン株式会社】 (URL : <https://jp.globalsign.com/>)

会 社 名	GMO グローバルサイン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1-2-3 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 中條 一郎
事 業 内 容	■情報セキュリティ及び電子認証業務事業
資 本 金	3 億 5,664 万円

【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社】 (URL : <https://www.gmogshd.com/>)

会 社 名	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社 (東証プライム 証券コード : 3788)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■電子認証・印鑑事業 ■クラウドインフラ事業 ■DX 事業
資 本 金	9 億 1,690 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産 (仮想通貨) 事業
資 本 金	50 億円